

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成30年(2018年)4月30日 13時13分 ~15時35分 (昼の部)	
開催場所	市役所4階 大会議室	
出席議員	<p>班 長 議会改革推進委員会委員長 一志信一郎          司 会 松枝功          説明者 全体説明 一志信一郎                    総務環境委員会委員長 山田幸与                    福祉教育委員会委員長 竹内秀太郎                    経済建設委員会委員長 召田義人          記録者 小林純子 小林陽子 遠藤武文</p> <p>出席議員          副議長 内川集雄          小林陽子、臼井泰彦、遠藤武文、林孝彦、坂内不二男、井出勝正、          山田幸与、一志信一郎、松枝功、増田望三郎、中村今朝子、          竹内秀太郎、平林明、藤原陽子、猪狩久美子、小松芳樹、          召田義人、宮下明博、平林徳子、小林純子</p>	
参加市民数	28人	
実施内容報告	報告への 質疑	<p>(穂高K氏) 安曇野市の財政が厳しいと議会で取り上げられているが、どのような状況か。</p> <p>(総務環境委員長) 新市建設計画により合併後の公共施設の整備を進めてきた。これまで、合併特例債の活用や交付税の合併算定替えがあったが、33年度以降はそのような優遇は無くなり、財政は厳しくなる。しかも、そんな時期に南部総合体育館、穂高クリーンセンター等の整備という大事業に着手したので、大きな借金が重なり償還金も一気に増えてしまうなど、厳しい状況に入りつつある現状である。</p> <p>(穂高K氏) 子どもや孫たちの未来のために、市の借金を減らしていく必要があるが、そのためにも少子化対策はどうか。</p> <p>(総務環境委員長) 議会として少子化対策というところまで取</p>

<p>実施 内容 報告</p>		<p>り組みは進んでいないが、財政状況などを的確にチェックして、将来負担とならないよう、議会の機能を果たしていく。</p> <p>(明科H氏) 人件費について、30年度は前年比14.4%ほど削減されているが、この比率をどう見るか。</p> <p>(総務環境委員長) 市の定員適正化計画というものがあり、議会としてもチェックしていく。</p>
<p>意見・ 提言等</p>		<p>○議会活動に対するもの</p> <p>(豊科M氏) 資料をもらったが、もっと詳しい予算書は用意できないか。</p> <p>(司会・松枝議員) 予算書は内容膨大でページ数も多く、資料として提供するには無理がある。予算の概要など工夫した資料を検討していく。なお、予算書等は市ホームページで公開されている。</p> <p>(穂高Y氏) 配布資料に総務環境委員会は所管部の記載があるが、福祉教育委員会と経済建設委員会には記載がない。市民にわかりやすく、との観点で入れておいてほしい。</p> <p>(福祉教育委員長) 配布資料について今後気をつける。</p> <p>(穂高Y氏) 議会広報が不十分だ。</p> <p>(副議長) 議会だよりは、議会終了後1ヶ月ほどで作成し新聞折込している。インターネットやSNSを利用しない方もいるので、議会だよりに加え市議会の報告会や議員個人や会派で行なう議会報告会等の機会を利用してほしい。ただ、議員個人や会派が行う報告会については、議会としては把握していない。</p> <p>(明科H氏) 区長になって2年目だが、地域に子どもが全くいなくなってしまったことを痛感する。少子化対策について、子育て支援、若者の結婚、出産、次世代を育てるという継続したマネジメントが、総合計画始め市の施策には全く欠落している。地元の若者の婚活支援のための施策を放棄して、県外からの移住を促進している場合ではない。議会として、議員として、議案に対して是々非々でノーを言うことも必要。安曇野市はなぜ人口を増やせないのか、しっかりと議論して追求してほしい。</p>

<p>実施内容報告</p>	<p>意見・提言等</p>	<p>(副議長) 子どもたちの元気な声を聞きたい等は共通認識だ。子供が増えるためには子育て等支援に加え、若い人の働く場も必要であり、行政から出された予算や議案をチェックしたり、議論するなど各議員が取り組んでいる。施策を議会全員で話し合い臨みたい。</p> <p>(穂高K氏) 少子化対策について、将来税収が減ることを考えて、今子どもにお金をかけて投資すべきではないか。議員には少子化対策にもっと熱を入れてもらいたい。</p> <p>(北穂高Y氏) 少子化でなく少子の時代。子どもは市が育て行くというスタンスでいく必要がある。認定こども園の保育士の待遇だが臨時職が多く予算を抑えている。予算を削った行政の提案を議会が可決していることが大問題だ。議員定数を削減した分などで浮かしたお金を、必要なところに回さなければ子育てしにくい安曇野市になり人口は増えていかない。</p> <p>(福祉教育委員長) 貴重な意見だ。第二次総合計画において打ち出しているように、安曇野市は若者が働き定住するため産業振興、出産、子育て環境の充実に特に力を入れている。認定こども園の臨時職員には、早朝や夜間の保育等のニーズにも対応してもらっている。結婚をしない若者の割合が増えていることは深刻である。安曇野市として思い切った少子化対策が必要だろう。市に結婚に関する調査実施を促すことや、県の結婚支援センターの利用について市民と一緒に真剣に取り組む必要がある。</p> <p>(堀金H氏) 安曇野市として子どもたちに残せるのは文化だと思うが、今年度の資料には白井吉見文学館や飯沼飛行士の名前が消えているものがある。大事なことと思いここで話した。選挙で送り出した市議会議員には、意見をどんどん言ってもらって、子どもたちにも背中を堂々と見せられるような生き方をしてもらいたい。高齢者がひと月6万5,000円の年金でどうやって暮らしていくのか、長峰荘などの施設へ足を運ぶための手段を真剣に考えてもらいたい。</p> <p>(副議長) 年金の問題、安曇野の伝統文化、少子化の問題につ</p>
---------------	---------------	--

<p>実施内容報告</p>	<p>意見・提言等</p>	<p>いて、一般質問などで議員全員が真剣に取り組んでいる。意見は今後に生かしていきたい。</p> <p>(穂高Y氏) 友好都市に「ほりで一ゆ〜」「ファインビュー室山」を売り込み、観光協定を結ぶよう行政に言い続けているが取り合ってもらえない。議会で行政を動かしてほしい。</p> <p>(穂高K氏) 議会は、安曇追分駅と有明駅の駐輪場に屋根を設置する陳情を採択した。いまだに工事の気配がない。実現まで責任を持って、関係各部署に働きかけてもらいたい。</p> <p>(明科Y氏) 陳情について継続審査が3回続くと審査未了となってしまうが、県議会では4回、5回と継続審議されている。検討をお願いしたい。</p> <p>○市政に対するもの</p> <p>(穂高Y氏) 安曇野市暮らしのガイドブックに、交通安全に関する記述が漏れている。配布に関してゼンリンに委託しているが、特に一人暮らしの高齢の方等必要とされる方に渡るように広報に取り組んでほしい。</p> <p>(明科H氏) 県の次世代サポート課の婚活支援事業から安曇野市は撤退している。他の市町村はこのシステムを活かして動いている。結婚に関して八方ふさがりで、地域でも結婚支援は難しい。安曇野市の婚活支援は全くの空白で、何とかしてほしい。</p> <p>(宮下総務環境委員) これまで市は社会福祉協議会へ結婚相談事業を600万円の予算で委託していたが、成果上がらず。現在は商工会青年部へ「出会いの会等の企画運営」として200万円の予算で委託し、以前より実績を上げている。</p> <p>(明科H氏) 福祉施設たる「長峰荘」の存続を、赤字で判断するのはいかななものか。他の施設の何分の一、何百分の一という僅かな投資で改修できるのではないか。</p> <p>(坂内経済建設委員) 市は、長峰荘をもう一年営業継続しながら、さらに市民から意見を聞き、存廃の方向性を出していくとのこと。議会としても、地域住民と一緒に考えていきたい。</p>
---------------	---------------	--

		<p>(豊科H氏) 80代半ばとなり運転免許は返上しようと思っているが、それにつけても歩道や自転車道が整備されていないのは切実な問題である。農業用水路を暗渠にして、自転車や歩行者が通行できるようにしてほしい。</p> <p>(堀金H氏) 穂高老人保健センターに続き、長峰荘もなくなりそうだが、閉館を議論するより交通手段を充実させ、利用促進を図ったほうがよい。</p>
その他 特記事項		<p>【添付資料】 第5回議会報告会のまとめ～市民からの意見・提案等への対応について</p>

平成30年(2018年)5月21日

安曇野市議会議長

班長 議会改革推進委員会

委員長 一志 信一郎

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成30年(2018年)4月30日 19時00分 ~20時48分 (夜の部)	
開催場所	市役所4階 大会議室	
出席議員	<p>班 長 議会改革推進委員会委員長 一志信一郎          司 会 松枝功          説明者 全体説明 一志信一郎                    総務環境委員会委員長 山田幸与                    福祉教育委員会委員長 竹内秀太郎                    経済建設委員会委員長 召田義人          記録者 小林純子 小林陽子 遠藤武文</p> <p>出席議員          議 長 小松洋一郎          副議長 内川集雄          小林陽子、臼井泰彦、遠藤武文、林孝彦、坂内不二男、井出勝正、          山田幸与、一志信一郎、松枝功、増田望三郎、中村今朝子、          竹内秀太郎、平林明、藤原陽子、猪狩久美子、小松芳樹、          召田義人、宮下明博、平林徳子、小林純子</p>	
参加市民数	11人	
実施内容報告	報告への 質疑	<p>(三郷K氏) 市の交付金に安全・安心パトロールという項目がある。各区一律に8万1,900円だが、区の世帯数に関わらず一律の金額になっている根拠と、予算審議の内容を知りたい。</p> <p>(総務環境副委員長) 区の部制度導入により、これまでと変わってきて、区等地域の予算全体としては大幅に増額となっている。その中で、安協については、組織改定され市で一本化されたことに伴い、交付金は各区一律に8万円余でとりあえず今年度やってみるという形である。総務環境委員会では、具体的に突っ込んだ議論はなく、異論なく可決した。</p> <p>(堀金K氏) 安曇野市財政計画によれば、31年度と32年度と予算が大きくなっている。人口が減って市税収入も減っていく中で、借金も増え、返済のための公債費も増えている。議会で</p>

<p>実施内容報告</p>	<p>報告への 質疑</p>	<p>はどんな議論をしたのか。箱物をつくらなければもっと楽、そこまで踏み込んだ議論がなされたか。</p> <p>(総務環境委員長) 毎年度の償還額では、平成 30 年度には元金で 43 億 5,800 万円を返し、そのうち約 36 億円が国からの交付税措置になる。交付税で措置されない部分を、一般財源で公債費に補填していくことになる。合併後の新市まちづくりのため、公共施設整備にお金を使ってきた。これはやむを得ない部分はあるが、いまや合併特例債の使用期限の最後になって、穂高クリーンセンターと南部総合体育館の建設に相当の金額が費やされるということで、厳しい結果を招いている。一般質問や委員会の中では、この財政状況を鑑み、行財政のスリム化、無駄を廃することなど、常に議会を通じて指摘し議論は盛んにやってきてはいる。</p> <p>(三郷K氏) 三郷西部認定こども園について議会の中ではどんな議論がなされたのか。</p> <p>(福祉教育委員長) 保護者から、民営化のメリット、デメリットの説明と統廃合により保護者への不利益はないか、地域の絆などに問題はないか、統廃合の必要性等についての丁寧な説明の 2 点を求める旨の陳情があった。議会では民営化についての議論をした。市民を交えた丁寧な議論をとの要望はもっともであり、委員会として陳情を採択した。</p> <p>(三郷K氏) こども園の統廃合により 1 園がなくなることで、その後の地域の活性化のために莫大な予算がかかってくることも議会で検討し、審議を進めてほしい。</p> <p>(福祉教育委員長) 市では、未満児保育の園として民営化も検討しつつ存続する方針のようだ。要望を踏まえて議会でも審議していく。</p> <p>(明科M氏) 自主財源が 166 億円、交付税も減る状況で、福祉に 177 億円かかっているが、いつまでもつのか。議員として調整に取り組んでもらわないと、財政的に後々非常に苦勞するのではないか。</p> <p>(福祉教育委員長) 民生費の 129 億 9,200 万円の内訳だが、大</p>
---------------	--------------------	--

実施内容報告	報告への質疑	<p>半が国等からの交付金で行われているものだ。一般財源から行う市独自の事業は、アクティブシニアがんばろう事業の778万円、入浴料金の割引交付金の3,041万円、合併特例債を活用しながら取り組んでいる認定こども園の建設事業が3園で約9億6,780万円ほどだ。市単独の事業は割合からするとわずかである。</p> <p>(三郷K氏) 三郷文化公園が緑化フェアの会場になると聞いた。誰が何をするのか。</p> <p>(坂内経済建設委員) 緑化フェアについては、県の実行委員会と市の実行委員会への負担金だけが本年度計上されたということで、細かな内容についてはこれから出てくるところだ。今年は山口県で緑化フェアがあるので、委員会として視察をする予定。一過性でなく、後まで残るようなものになるよう勉強していきたい。</p> <p>(堀金K氏) 安曇野市観光ビジョンの戦略プロジェクトに山岳観光はない。なのに、議会で山岳観光の質問が出る。観光ビジョンを無視しており、見当はずれではないか。</p> <p>(経済建設委員長) 8月11日が山の日に制定されたが、市の観光ビジョンの中に山岳観光という名目が入っていないようなので、委員会で具体的に検討していきたい。</p>
	意見・提言等	<p>○議会活動に対するもの</p> <p>(堀金K氏) 保育園、小・中学校の入学式、卒業式には地元地域の議員しか来ないが、議員活動として広く市内の学校等に行った方がいいと思うがどうか。</p> <p>(議長) 確かに固定的になっている現状がある。議会として広い視野に立って検討し実現するよう努力する。</p> <p>(豊科T氏) 分譲地に引く下水道管工事費用を不動産屋が負担するのは理不尽。議会で取り上げて議論してほしい。</p> <p>(坂内経済建設委員) 提案を受け、委員会の中で検討していく。</p> <p>(三郷K氏) 住宅購入費の助成は、過疎地域に住もうという人</p>

<p>実施 内容 報告</p>	<p>意見・ 提言等</p>	<p>にこそ必要ではないか。集住地域より過疎地域の活性化を図ると という視点で審議してほしい。</p> <p>○市政に対するもの</p> <p>(豊科T氏) 来年開催の緑化フェアについて、市はその時は頑 張るが、その後のことはどこまで考えているかわからない。緑 化フェアを機に、屋敷林の保護、指定木の管理をきちんとして もらいたい。注目されず、何も残らないイベントならやらない 方がいい。緑化フェアがそうならないようにしてほしい。カヌ ーのホストタウン計画にしても、県のカヌー協会が指導するの ではなく、今まで地元でカヌーをやってきた人たちを信頼して 任せる方向性でお願いしたい。</p> <p>(総務環境副委員長) 委員会でも議論があったので、決して県 に頼るのではなく、市主体となるよう議会もチェックしていき たい。</p> <p>(豊科T氏) 高校の統廃合については、中信地区では、松本工 業、南安曇農業、穂高商業、池田工業高校等が統廃合の危機に ある。少子化はあるが、地域の文化、宝を子どもたちの育成の ために残していけるよう、市議会としても県へ要望してほし い。</p> <p>(明科E氏) ふるさと納税による収入の予算額を見ると3億円 で、前年比で33%も減額しているということは、安曇野市に 魅力がないということになるが、もう少し増やすための議論を してもらいたい。</p> <p>(総務環境副委員長) 総務省から過剰な返礼品はやめるよう という通達があったため、今年度は予算減額となった。しかし、 3億円は控え目な見込みなので、実際にはかなり超えてくるの ではないかと予測しているとの説明があった。ふるさと納税し た方に「ふるさとクーポン券」を発行して贈る取り組みなど、 工夫もしている。</p> <p>(副議長) 総務省通達により、ふるさと納税の「お得感」が薄 れ寄附が少なくなるのではと心配している。最初はたった4 件、17万2,000円だった安曇野市へのふるさと納税が、行政</p>
-------------------------	--------------------	--

		の努力と議会の後押しもあってここまで来た。さらに頑張りたい。
その他 特記事項		【添付資料】 第5回議会報告会のまとめ～市民からの意見・提案等への対応 について

平成30年（2018年）5月21日

安曇野市議会議長

班長 議会改革推進委員会

委員長 一志 信一郎

## 第5回議会報告会のまとめ～市民からの意見・提案等への対応について

### 《議会、議員に対するもの》

1. 安曇野市はなぜ人口をふやせないのか、しっかりと議論し追求してほしい。
2. 少子化対策にもっと熱を入れてもらいたい。
3. 保育士の非正規雇用により予算を抑えている。予算を削った行政の提案を、議会が可決していることが大問題だ。
4. 選挙で送り出した市議会議員には、意見をどんどん言ってもらいたい。
5. 高齢者が施設へ足を運ぶための手段を真剣に考えてもらいたい。
6. 友好都市に「ほりで一ゆ〜」「ファインビュー室山」を売り込み、観光協定を結ぶよう行政に言い続けているが取り合ってもらえない。議会で行政を動かしてほしい。
7. 安曇追分駅と有明駅の駐輪場に屋根を設置する陳情を採択したが、いまだに工事の気配がない。実現まで責任を持って、関係各部署に働きかけてもらいたい。
8. 陳情について継続審査が3回続くと審査未了となってしまうが、県議会では4回、5回と継続審議されている。検討してほしい。
9. 安全・安心パトロールに係る交付金は、各区一律に8万1,900円だが、区の世帯数に関わらず一律の金額になっている根拠と、予算審議の内容を知りたい。
10. 人口が減って市税収入も減っていく中で、借金も増え、返済のための公債費も増えている。福祉に177億円かかっている点も気がかり。議会ではどんな議論をしたのか。
11. 三郷西部認定こども園について議会の中ではどんな議論がなされたのか。
12. 安曇野市観光ビジョンに議会としてどう取り組んでいくのか。
13. 保育園、小・中学校の入学式、卒業式には、議員活動として広く市内の学校等に行った方がいいと思うがどうか。

14. 分譲地に引く下水道管工事費用を不動産屋が負担するのは理不尽。議会で取り上げて議論してほしい。
15. 住宅購入費の助成は、過疎地域に住もうという人にこそ必要ではないか。集住地域より過疎地域の活性化を図るという視点で審議してほしい。
16. 高校の統廃合については、中信地区では、松本工業、南安曇農業、穂高商業、池田工業高校等が統廃合の危機にある。少子化はあるが、地域の文化、宝を子どもたちの育成のために残していけるよう、市議会としても県へ要望してほしい。
17. ふるさと納税による収入を増やすための議論をしてもらいたい。
18. 市の財政（人件費の削減、借金等）に関する市議会の認識は。
19. 議会広報が不十分だ。

《議会報告会に関するもの》

20. 配布資料の工夫を望む

.....

議会改革推進委員会	(4、19、20)	)
議会広報特別委員会	(19)	)
議会運営委員会	(8、13、19)	)
総務環境委員会	(1、2、5、9、10、17、18)	)
福祉教育委員会	(2、3、5、10、11、16)	)
経済建設委員会	(6、7、10、12、14、15)	)

※1、2、5、6、7、9、14、15、16、17については、市長・行政に対するものとも受け取れるので、双方で対応する必要があると確認した。

### 《市長・行政に対するもの》

21. 安曇野市暮らしのガイドブックに、交通安全に関する記述が漏れている。市がゼンリンに作成や配布を委託しているのか。一人暮らしの高齢の方等必要とされる方に渡るように広報に取り組んでほしい。
22. 県の次世代サポート課の婚活支援事業から安曇野市が撤退しているのは問題ではないか。安曇野市の婚活支援は全くの空白で、何とかしてほしい。
23. 福祉施設たる「長峰荘」の存続を、赤字で判断するのはいかがなものか。他の施設の何分の一、何百分の一という僅かな投資で改修できるのではないか。
24. 農業用水路を暗渠にして、自転車や歩行者が通行できるようにしてほしい。
25. 長峰荘等の公共施設の閉館を議論するより交通手段を充実させ、利用促進を図ったほうがよい。
26. 来年開催の緑化フェアを機に、屋敷林の保護、指定木の管理をきちんとしてもらいたい。緑化フェアが単なるイベントで終わってしまうことがないように取り組んでももらいたい。
27. カヌーのホストタウン計画について、県のカヌー協会が指導するのではなく、今まで地元でカヌーをやってきた人たちを信頼して任せる方向性でお願いしたい。